



# 菱小だより

桐生市立菱小学校

令和3年 No. 7 R3. 7. 7

TEL 44-4342 FAX 44-4345

## 七夕によせて

今日は7月7日、七夕です。一昨日、菱小だよりNo.6を発行したばかりですが、No.7は、やはり7月7日に発行したいと思い、続けての発行となりましたが、お読みいただければ幸いです。

七夕といえば、願い事。1年生の廊下に願い事を書いた短冊が飾られていたので、見てみました。「ともだちがふえますように」「えがすごくじょうずになれますように」「プールがじょうずになりますように」「バドミントンがうまくなりますように」など、身近な生活の中でこんなことができるようになりたいという願い事が多かったですが、中には「オリンピックのせんしゅになれますように」といった大きな夢を書いている子や「ころながなくなりますように」と書いてくれている子もいました。1年生一人一人の顔を思い浮かべながら、叶うといいな、叶えてほしいなと思いながら見ていました。

保護者の皆さんの中にもご覧になっている方もいらっしゃると思いますが、わたし（前原）も今、NHKの朝ドラ（朝は見られないので録画ですが）を毎日楽しみに見えています。今は「おかえりモネ」というタイトルで、主人公の女の子がふとしたきっかけで気象のことに興味をもち、気象予報士となってみんなの役に立つという夢を追いかけるといったストーリーです。この主人公も高校生の頃は音楽に夢中で、音楽関係の大学に進もうとしていましたが失敗。東北の離島育ちの主人公は東日本大震災を経て、海とは真逆の森林での仕事に就きます。そんな中で、気象予報士という夢を見つけ、その夢の実現に向けて歩んでいくのです。

たいていの小学生は、まだまだ将来のことなど考えていないというのが普通だと思いますし、中学、高校と進むにつれて、また、モネちゃんのように大人になっていろいろな生活をする中で、子どもの頃とは違った夢が見つかることが多いと思います。当然、夢が叶わないということも出てくるでしょう。

子どもたちには、どんなときでも、夢や目標を見つけ、夢や目標が見つかったときに、その実現に向けて努力しようとする人に、そして、その夢や目標を叶えるために必要な力をもった人になってほしいと思います。

学校では、今、たくさんのことを学んでいます。いろいろな体験活動なども行っています。こうした学校での学習に取り組む中で、自分のための夢や目標を見出し、その実現に向け努力できる強い心や体、そして、自ら学ぼうとする気持ちや夢の実現に必要な基礎的な知識などを身に付けていってほしいと思いますし、どの子にも、夢を実現するための力をしっかりと身に付けてあげたいと思います。



【東一丁目公園で】

ところで、夢や目標、願い事を叶える方法を前任の学校で七夕集会があったときに、子どもたちに話したことがあります。わたしもいつもこうありたいと思っているのですが・・・。

子どもたちも含めて、わたしたちはいろいろな言葉を口から出しています。その中で、どうしても愚痴や言い訳、うそ、悪口やあきらめの言葉、ため息など「マイナス」の言葉が多くなってはいないでしょうか。そんなマイナスの言葉ではなく、夢や希望、決意などの前向きな言葉、褒め言葉、励ましや感謝の言葉、そして、人の心を温かにする言葉など、プラスの言葉を常に口に出してみましょ。口から出すのは+（プラス）の言葉。それを漢字にすると、「叶う」という字になります。そう、口から出るのがプラスの言葉になると、夢や願い事は「叶う」のです。皆さんは、お子さんはどうですか？

ちなみに、わたし（前原）の願い事（願い事というより、絶対に実現させたい決意ですね）は、「菱小学校のみんなが全員元気に学校生活を送れますように」です。菱小学校の全員が、学校での事故やトラブルだけでなく、変な事件に巻き込まれたり、交通事故や様々な自然災害などの被害に遭わないように、保護者の方、地域の方の御協力を得ながら、教職員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

## GIGAスクール特別講座 ～君も宇宙へ！～

そんなわけで、菱小学校の子どもたちが夢や目標をもつためのきっかけとなるような取組、興味や疑問をもつきっかけをつくれるような取組を学校でもいろいろと行っていますが、昨夜、文科省と宇宙飛行士が連携した教育活動「GIGAスクール特別講座～君も宇宙へ～」が行われ、御案内したところ、15家庭から参加希望があり、そのうち6家庭が学校で参加しました。現在、国際宇宙ステーションに滞在している星出宇宙飛行士さんとリアルタイムでつながり、「水は宇宙ではどうなるか」を見せてくれたり、「コーヒーと牛乳は宇宙でも混ざるのか」といった疑問に、実際に星出宇宙飛行士さんが実験をしてくれました。ちなみに、水は球体に、コーヒーと牛乳は混ざりました。参加した子どもたちは本当に真剣に画面に見入っていました。



今後もこうしたオンラインを活用して、実際に専門家とつながって話を聞けるような取組も考えていけたらと思います。参加された皆さん、ありがとうございました。



## 多行松植樹プロジェクト

菱町かるたの「た」に「多行松 児童とともに 百余年」とうたわれている「多行松」。多行松は、アカマツの一種で木の根元から何本かに枝分かれている珍しい松で、菱小学校の南側、道路沿いに植えられている多行松は、明治36年、今から118年前に菱小学校が現在の場所に移転した際に植えられたもので、それからずっと、この場所で菱小学校の子どもたちを見守ってきてくれました。学校だけでなく、菱町全体のシンボルとして、地域の皆さんが大切に守り、育ててきた菱町の宝物です。

しかし、近年、枯れている枝が目立つようになり、樹木医さんに看てもらって、薬を注入するなど対策をとってきました。このままでは菱小学校の、菱町の皆さんが百年以上、大切に守ってきた多行松がなくなってしまう心配も出てきました。

そこで、一昨年度から国土緑化推進機構の「子どもたちの未来の森づくり事業（緑の募金事業）」を活用して、この多行松の保存・次世代への継承を目的とした活動を進めてきました。今回、新しい多行松の苗木を6本いただき、児童集会で「多行松植樹プロジェクト」を行いました。当日はお忙しい中、島崎区長さん、池上菱公民館長さん、携上多行松保存会会長さんにお越しいただき、樹木医の福田さんと島崎区長さんにに話をさせていただいたあと、各学年に苗木が1本ずつ贈呈されました。この日は代表で6年生の苗木を環境委員の関さんと向田さんが植えてくれました。最後に、環境委員の安藤さんが「わたしたちはこれからも先輩たちが守ってくださった多行松とあわせて、今日植えた多行松の成長も見守り、これからの菱小学校に伝統ある多行松を引き継いでいきます」とあいさつしました。



百年以上、菱小学校の先輩たちが、そして、菱町の地域の人たちが大切に守ってきた「多行松」。

今回植えた新しい多行松の苗木の成長をしっかりと見守り、これまで多行松を大切にしてきた菱小学校の先輩や地域の方の思いをしっかりと引き継ぎ、この苗木を育てていくのと一緒に、子どもたちの「菱町を愛する心」や「自然、環境を大切に守っていこう」という心も育てていきたいと思っています。地域の方には、この多行松とともに、この子どもたちの成長も見守ってくださいますようお願いをしたいと思います。

